

みずほマーケット・トピック(2023 年 6 月 30 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照下さい。

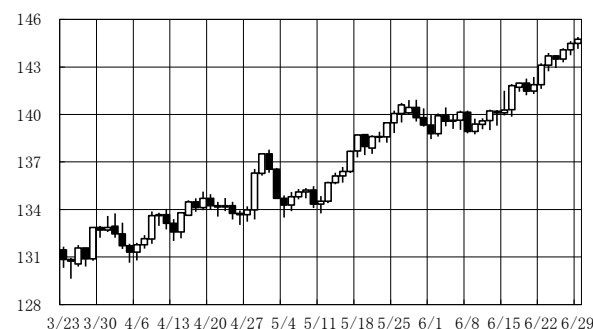
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は、年初来高値を再更新し、節目の145円に迫った。週初26日、143.53円でオープンしたドル/円は、政府・日銀による円買い介入への警戒感から143円台前半へじり安推移。海外時間は、本邦政府高官の円安けん制発言を受けて円が買われ一時143円を割り込むも、NY時間には米金利上昇を背景に143円台半ばへ往って来いとなった。27日、ドル/円は材料に欠ける中、143円台半ばでレンジ推移。海外時間は、複数の堅調な米経済指標を受け、米金利動向に合わせ144円台に乗せた。28日、ドル/円は本邦財務相の円安けん制発言で143円台後半へじり安推移。海外時間は、ECBフォーラムにおけるパウエルFRB議長のタカ派発言を背景に、米利上げ期待の高まりとともに144円台半ばに反転上昇した。29日、ドル/円は円買い介入への警戒感が高まる中、下に往って来い。海外時間は、米1~3月期GDP(確報)や新規失業保険申請件数の堅調な結果を受け米金利は急騰、年初来高値となる144.90円に上昇した。本日のドル/円は、円の戻り買いもあり144円台後半での取引となっている。
- 今週のユーロ/ドルは、週前半に独金利動向に合わせ上昇も、その後は下落に転じた。週初26日、1.0907でオープンしたユーロ/ドルは、独6月IFO企業景況感指数の弱い結果を受け、独金利低下に合わせ1.09を割り込むも、ユーロの買い戻しを受けほぼ往って来い。27日、ユーロ/ドルは、複数のECB高官によるタカ派な発言が材料視され、独金利上昇に合わせ一時週高値となる1.0977に上昇した。28日、ユーロ/ドルは米独金利差が拡大する中、パウエル議長のタカ派姿勢も相まってドルが買われ、1.09台前半へ下落した。29日、ユーロ/ドルは独6月消費者物価指数(速報)の強い結果を受け独金利動向に連れて上昇するも、NY時間には堅調な米経済指標を受けた米金利上昇を背景に一時週安値となる1.0860に反落した。本日のユーロ/ドルは、引き続き前日の安値圏での取引となっている。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		6/23(Fri)	6/26(Mon)	6/27(Tue)	6/28(Wed)	6/29(Thu)
ドル/円	東京9:00	143.02	143.53	143.47	143.85	144.40
	High	143.87	143.70	144.18	144.62	144.90
	Low	142.67	142.94	143.30	143.73	144.15
	NY 17:00	143.71	143.51	144.09	144.48	144.81
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0957	1.0907	1.0910	1.0958	1.0915
	High	1.0960	1.0920	1.0977	1.0961	1.0941
	Low	1.0845	1.0887	1.0901	1.0896	1.0860
	NY 17:00	1.0897	1.0906	1.0962	1.0912	1.0863
ユーロ/円	東京9:00	156.71	156.34	156.50	157.62	157.60
	High	156.81	156.71	157.92	158.00	157.92
	Low	155.07	155.77	156.42	157.28	157.27
	NY 17:00	156.59	156.49	157.87	157.68	157.35
日経平均株価		32,781.54	32,698.81	32,538.33	33,193.99	33,234.14
TOPIX		2,264.73	2,260.17	2,253.81	2,298.60	2,296.25
NYダウ工業株30種平均		33,727.43	33,714.71	33,926.74	33,852.66	34,122.42
NASDAQ		13,492.52	13,335.78	13,555.67	13,591.75	13,591.33
日本10年債		0.36%	0.35%	0.37%	0.38%	0.38%
米国10年債		3.74%	3.72%	3.77%	3.71%	3.84%
原油価格(WTI)		69.16	69.37	67.70	69.56	69.86
金(NY)		1,929.60	1,933.80	1,923.80	1,922.20	1,917.90

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、7月3日(月)に6月ISM製造業景気指数、6日(木)に非製造業景気指数が発表される。5月の結果は、それぞれ46.9、50.3となった。製造業は4月からは▲0.2ポイント低下し、7か月連続の50割れとなった。生産指数や雇用指数が上昇も、新規受注が大幅に低下しており、見通しの暗さが見て取れる。実際、18対象業種のうち活動拡大を示したのは4業種に限られた。一方、非製造業は4月からは▲1.6ポイント低下し、年初来で最低水準となった。新規受注指数を中心に全般的に低下も、50以上を辛うじて維持した格好だ。公表元のコメントでも、「現在の業況は安定しているとする回答が多いものの、景気減速に対する懸念もある」との記載があり、製造業に加え非製造業でも先行きの不確実性が増してきている印象が強い。業種別では11業種が活動拡大、7業種が縮小を報告した。なお、6月の結果に關し、ブルームバーグの事前予想ではそれぞれ47.1、51.2と見込んでいる。

また、5日(水)にはFOMC議事要旨(6月会合分)が公表予定。会合では、11会合ぶりに政策金利の据え置きを決定。声明文では、「目標レンジを据え置くことで、委員会は追加情報とその金融政策への含意の見極めが可能になる」との文言が追加され、決定の理由を説明。新たに更新されたドットチャートでは、2023～25年の各年末における政策金利の見通し(中央値)が「5.6%→4.6%→3.4%」となっており、前回対比で+0.5%ポイント、+0.3%ポイント、+0.3%ポイント引き上げられている。パウエルFRB議長も会見で「ほぼすべてのメンバーが、さらなる利上げが必要と考えている」と追加利上げの必要性を強く示唆。一方、「7月以降は何も決まっていない」「7月はライブな会合」とデータ依存の金融政策運営を強調した。今後の利上げの決定は、インフレ指標・雇用関連指標をにらみながらのものとなる。

	本 邦	海 外
6月30日(金)	・5月失業率/有効求人倍率 ・5月鉱工業生産(速報) ・東京6月消費者物価指数	・ユーロ圏6月消費者物価指数(速報) ・米5月個人所得/支出 ・米5月個人消費支出デフレーター ・米6月ミシガン大学消費者マインド(確報)
7月3日(月)	・日銀短観(4～6月期) ・6月製造業PMI(確報)	・ユーロ圏6月製造業PMI(確報) ・米6月製造業PMI(確報) ・米6月ISM製造業景気指数
4日(火)	—————	・独5月貿易収支
5日(水)	・6月非製造業PMI(確報)	・ユーロ圏6月非製造業PMI(確報) ・ユーロ圏5月生産者物価指数 ・米FOMC議事要旨(6月会合分)
6日(木)	—————	・ユーロ圏5月小売売上高 ・米5月貿易収支 ・米6月非製造業PMI(確報) ・米6月ISM非製造業景気指数
7日(金)	・5月毎月勤労統計 ・5月景気動向指数(速報)	・独5月鉱工業生産 ・米6月雇用統計

【当面の主要行事日程(2023年7月～)】

FOMC(7月25～26日、9月19～20日、10月31日～11月1日)

ECB政策理事会(7月27日、9月14日、10月26日)

日銀金融政策決定会合(7月27～28日、9月21～22日、10月30～31日)

市場営業部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2023年6月29日	金融政策と通貨政策、動くのはどっちが先か
2023年6月27日	23年3月末時点の「資金循環統計」を受けて
2023年6月26日	「2005－07年の円安バブル」と現在の違い
2023年6月23日	週末版
2023年6月22日	ECBは利上げ停止後に何をするつもりか
2023年6月21日	「Brain freeze(思考停止)」と研究開発サービス赤字
2023年6月20日	「2030年までに対内直接投資残高100兆円」の現実味
2023年6月19日	日本、「監視リスト」除外の読み方～国力低下の象徴～
2023年6月16日	週末版(ECB政策理事会を終えて～we're not at destination～)
2023年6月15日	FOMCを終えて～追い詰められる円高見通しと年内利下げ～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年5月分)
2023年6月14日	日銀はいつ動くのか～円安抑止策としてのYCC修正可否～
2023年6月13日	家計金融資産の「開放」は何を意味するか～骨太の方針～
2023年6月12日	FRBは他国・他中銀から影響を受けるのか？
2023年6月9日	週末版
2023年6月8日	本邦4月国際収支統計を受けて～「新しい赤字」の影～
2023年6月7日	ユーロ圏のインフレ期待について～6月会合プレビュー～
2023年6月6日	「弱い円」への諦観は日本人を動かすか？
2023年6月5日	米5月雇用統計を受けて～遥か遠のく年内利下げ～
2023年6月2日	週末版(コアベースでも鈍化し始めたユーロ圏インフレ率～ハト派転化には十分と言えず～)
2023年6月1日	FRB、6月利上げ見送りの受け止め方～円高到来か？～
2023年5月30日	ユーロ圏の賃金・物価情勢～賃金は峠、エネルギー環境は脆弱～
2023年5月26日	週末版(32年連続世界最大の対外純資産国の意味～過去最高を記録した直接投資比率～)
2023年5月24日	構造的に薄れるPPPを見る意味～「成熟した債権国」と共に～
2023年5月23日	「世界中が欲しがる財・サービス」は「高嶺の花」～「弱い円」の価値～
2023年5月22日	資産価格が上がっているのか、円が下がっているのか
2023年5月19日	週末版
2023年5月18日	1～3月期GDPを受けて～ベントアップ需要を阻む円安～
2023年5月17日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年4月分)
2023年5月16日	4月国内企業物価指数を受けて～変化率と水準の違い～
2023年5月15日	新しい外貨流出源～デジタル・コンサル・研究開発～
2023年5月12日	週末版(米連邦債務上限問題について～政府機関閉鎖は一時的な円高材料に～)
2023年5月11日	3月国際収支統計を受けて～インバウンドの功罪～
2023年5月9日	ECB政策理事会を終えて～持続する利上げ路線～
2023年5月8日	FOMCを終えて～利上げ停止でも円安持続という現実～
2023年5月2日	円相場の現在地～下がり続ける購買力、最強通貨はフランに～
2023年5月1日	植田体制初会合のレビューと円相場への影響
2023年4月28日	週末版
2023年4月26日	ユーロ/円相場、8年4か月ぶり高値の背景整理
2023年4月25日	日銀、初会合プレビュー～YCC撤廃確率は40%～
2023年4月24日	ECB政策理事会議事要旨と5月会合プレビュー
2023年4月21日	週末版(インバウンドの現状と展望～量、質ともに復調しつつあるインバウンド需要～)
2023年4月20日	本邦3月貿易収支～赤字は3か月で5兆円超え～
2023年4月18日	EU-ロシア貿易の構造変化～戦争の余波～
2023年4月17日	GFSRも重要性を訴える地経学的な思考
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年3月分)
2023年4月14日	週末版(FOMC議事要旨と米3月CPIを受けて～円安見直しへの影響はあるか？～)
2023年4月12日	変わる直接投資とスローバライゼーション(slowbalization)
2023年4月11日	植田会見、「直ちに修正することは無い」の真意
2023年4月10日	第一次所得収支の内情～戻ってくる円は半分程度か～
2023年4月7日	週末版(日銀金融政策決定会合プレビュー～初戦は様子見を予想～)
2023年4月6日	次の危機はCRE危機か？～ECBの警鐘～
2023年4月4日	日銀短観3月調査を受けて～深刻な極まる人手不足～
2023年4月3日	ユーロ圏3月消費者物価指数(HICP)の読み方
2023年3月31日	週末版
2023年3月30日	第1四半期の総括と今後の展望～円高始まらず～
2023年3月28日	ひっ迫感が強まるユーロ圏の雇用・賃金情勢
2023年3月24日	週末版(鳴りを潜める「安全資産としての円」～投機の円買いは縮小中～)
2023年3月23日	FOMCを終えて～年内利下げは未だリスクシナリオ～
2023年3月22日	年初来の主要通貨を概観する～変わらない円安～
2023年3月17日	退路を断ったECB～自信の誇示を優先～
	週末版
2023年3月16日	ECBは「世紀の失策」を繰り返すか～利上げの行方～
2023年3月15日	企業物価指数の現状と展望～残る円安の爪痕～
2023年3月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年2月分)
	先陣を切るECB～アフターSVBの金融政策動向～
2023年3月13日	SVB破綻、ドル/円相場見直しへの影響
2023年3月10日	週末版(1周年を迎えた米利上げ局面～やはり遠い円高シナリオ～)
2023年3月8日	1月国際収支統計を受けて～今後の注目点～
2023年3月7日	FRBより長引くECBの利上げ～ホルツマン発言について～
2023年3月6日	日本における「基調的なインフレ率」の現状と展望
2023年3月3日	週末版(賃金インフレへの懸念強まるユーロ圏～コアは加速、政策理事会の争点は賃金に～)
2023年2月28日	ECBのバランスシート政策について～状況整理～
2023年2月27日	植田総裁候補の所信聴取を受けて
2023年2月24日	週末版
2023年2月21日	利上げ減速のイメージが湧かないユーロ圏
2023年2月20日	現実味増すインフレ長期化～円安シナリオの再起動～
2023年2月17日	週末版(本邦1月貿易統計を受けて～史上最大、再び～)
2023年2月15日	本邦10～12月期GDP～3年経ってもコロナ前～
2023年2月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2023年1月分)
	日銀、植田新体制への所感～Q&A方式での整理～
2023年2月13日	日銀、植田新体制への所感～理想から現実へ～
2023年2月10日	週末版
2023年2月9日	ユーロ圏、インフレ期待の現状～pivotは支持されず～
2023年2月8日	2022年の国際収支統計を受けて～意外な伏兵～
2023年2月7日	日本はドイツに追い抜かれてしまうのか～何が違うのか～
2023年2月6日	IMF見通し上昇修正と為替見通しの関係について
2023年2月3日	週末版(ECB政策理事会を終えて～顕著に改善するユーロ相場の取引環境～)
2023年2月2日	FOMCを終えて～ドル/円見通しに影響なし～
2023年1月30日	23年、最初の1か月を終えて～言うほど進まないドル安～
2023年1月27日	週末版(当面のECBの金融政策運営の考え方～「追い風」を得てタカ派に持続性～)
2023年1月25日	神風に救われたユーロ圏経済～最悪からの復活？～
2023年1月24日	「投機の円買い」vs.「実需の円売り」の行方